

10月8日

05



約2500個のキャンドルがともされた

キャンドルのあかり優しく

総合運動公園で電気を消してキャンドルをともし「キャンドルナイト in くしま 2017」がありました。環境問題を考えるきっかけとして毎年開催されており、今年で14回目。会場に用意された約2500個の廃油キャンドルが幻想的な空間を作り出していました。



福島小学校5年生
くろぎ ゆりか
黒木 佑里弥さん

エコメッセージを発表しました。初めは緊張したけど話しているうちに落ち着いてきました。これからエコバッグを持参して、使っていきたいです。

TOPIC 講演会で自殺防止訴え

9月22日、市総合保健福祉センターでこころの健康づくり講演会がありました。福井県の東尋坊で自殺防止活動をする茂幸雄さんが、人々の絆に支えられている命の尊さや、生きることの大切さについて話し、自殺防止へ悩みを聞くことの重要性を訴えました。



講演するNPO「心に響く文集・編集局」代表の茂幸雄さん



北方小学校6年生
みずたに
水谷 こころさん

世界で活躍する土性選手や坂上選手とスパーリングや打ち込み練習ができていい経験になりました。これからの試合に生かしていきたいです。

10月7日

04

めぐすり乱入で大騒ぎ

無病息災と五穀豊穡を願い、約350年前から続く大東地区・広野の伝統行事「めぐらもち」がありました。みの姿の「めぐすり」と呼ばれる鬼たちが集落を巡回し各戸に乱入。座敷に上がりこむと、金銭や焼酎をせびり大騒ぎ。今年もにぎやかに無礼講の夜が繰り広げられました。



各戸に乱入し金銭をせびるめぐすり



福島地区・本町1丁目
あじまが せいじ
鯉坂 清二さん

誘っていただき初めて体験しました。想像していたより鬼の迫力がすごかったです。こういう伝統が残っているのがうらやましいですね。

10月20日

06



五輪金メダリストの土性選手から指導を受ける高校生ら

金メダリストが小中高生指導

福島高校でリオ五輪69キ口級金メダリストの土性沙羅選手、世界選手権58キ口級代表の坂上嘉津季選手らを招いて合同練習会が行われました。市内の小中高生ら約30人が参加。スパーリングなど実戦形式の練習で、世界で活躍する選手たちの技術を肌で感じていました。

9月23日

01



協力して岬馬を柵に追い立てる参加者たち

馬追いで野生馬丘陵疾走

都井岬で岬馬の害虫駆除や個体識別のための「馬追い」が行われました。都井御崎牧組合の組合員や宮崎大学の学生ら約70人が参加。群れを見つけると隊列を組み、竹棒を手に行く手を遮りながら柵へと追い込みました。24日には、駆虫剤の投与や個体識別のための焼き印が押されました。

9月29日

03



クリスチャンの話を真剣に聞き入る受講者たち

金曜日に市民講座はいかが

中央公民館で各分野のスペシャリストを講師に招き、講義を行う「夢は南の果てにある。」市民講座が初開催されました。1回目は、市国際交流員のクリスチャンが「みんなの知らないアメリカの話」と題し、講師を務めました。同講座は来年2月まで毎月開催され、次回は11月17日の予定です。



福島地区・上小路
こだま
小玉 マシさん

講座に参加するとたくさんの人に出会えるし、知らないことを学べます。クリスチャンの講座もアメリカのことが分かって勉強になりました。

くしま プレイバック

9月23日～10月20日

まちで起こったあんなことやこんなこと。串間の1カ月を振り返ります。



長崎大学
たなか みお
田中 美緒さん・宮崎大学
よしだ あやこ
吉田 彩子さん

仕事の関係で参加しました。二人とも馬術部出身で馬が大好きなので楽しかったです。丘の上から見る景色もとてもきれいでした。

9月24日

02

新鮮伊勢エビに長蛇の列

漁が解禁された伊勢エビを味わってもらおうと「いせえび祭り」が串間市漁協でありました。伊勢エビは市価よりも安く販売され、開場前から詰め掛けていた市民らが購入。伊勢エビ半身が入ったみそ汁の振る舞いにも長蛇の列ができ、受け取った来場者は旬の味を堪能していました。



多くの来場者が伊勢エビを買い求めた



都城市在住
よねくら たえこ
米田 多恵子さん

朝4時頃から並びました。みそ汁の振る舞いは、伊勢えびが半分も入っていておいしかったです。遠くから来たかいいがありました。